

調査書作成上の注意事項

1 用紙(A 3 版縦長)

C D 等により配布した様式を使用することとし、それに直接入力するか、又は様式を印刷し、手書きにより記入（ゴム印使用可）するかのいずれかによることとする。

※出願の際は B 4 で提出。

2 ※欄（受付番号欄）には記入しない。

3 外国籍を有する志願者等については、本人が希望する氏名を用いる。

4 現住所の欄は、県内志願者については都市名から、県外志願者については県名から書き始める。

5 学習の記録

（1）観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、第 3 学年の状況を A, B, C の 3 段階で記入する。

A 十分満足できると判断されるもの

B おおむね満足できると判断されるもの

C 努力を要すると判断されるもの

（2）教科（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭及び外国語（以下「各教科という。）」の評定

ア 第 1, 2 学年・・・指導要録から転記する。

イ 第 3 学年

平成 28 年 3 月卒業見込みの者

各教科については、各教科の評定を目標に準拠した評価（絶対評価）で 5 段階評定とする。

5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4 十分満足できると判断されるもの

3 おおむね満足できると判断されるもの

2 努力を要すると判断されるもの

1 一層努力を要すると判断されるもの

平成 28 年 3 月までに卒業した者

指導要録から転記する。

6 特別活動の記録

項目ごとに、所属する係名や委員会名及びその役職名並びに学校行事における役割名等を記入する。記入に当たっては、名称のみでもよい。

なお、体育・文化・奉仕活動等の欄については、次に該当する者を記入する。

- (1) 部活動において著しく優秀な成績をあげたもの。
- (2) その他の体育活動及び文化活動において著しく優秀な成績をあげたもの。
- (3) 家庭や社会における奉仕活動等の善行、学校内外における表彰を受けた活動等に、課外における活動のうち、生徒の長所と判断されるものなど。

7 行動の記録

第3学年の各教科、道徳、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動の状況について記入する。各項目ごとに十分満足できる状況にあると判断される場合は、欄内に○印を記入する。また、特に必要あれば項目を追加して記入する。

また、過年度卒業者については、指導要録から転記するものとし、該当する項目がない場合は空欄を利用して記入する。

8 出欠の記録

- (1) 指導要録から転記する。ただし、卒業見込みの者の第3学年の欄は、平成28年12月末までの状況を記入する。
- (2) 欠席の主な理由は、1週間以上の連続欠席及び年間10日以上欠席について、その理由を記入する。

9 卒業後の記録

過年度卒業者の、卒業以後現在までの生活態度、学習状況等について、就職者はその職歴を、他の学校・専修学校又は各種学校の就学者は在学中の成績等を、無職の者は家庭での状況等を、事業主、学校からの資料又は保護者の報告に基づき記入する。

- 10 使用しない欄には、「なし」と記入するか斜線を引くこととし、空欄のままにしないこととする。